

## 03 インライン要素

### em 要素

文章の中の特定の部分を強調したい場合は、`<em>` ~ `</em>` で囲います。  
一般的なブラウザでは、このタグが付けられた部分は斜体で表示されますが、  
どのように表示させるかは CSS で自由に設定できます。

記述例：

```
<p>  
    私は<em>HTML を</em>習得したいのです！  
</p>
```

### ・ strong 要素

文章の中の特定の部分が重要・重大である場合、または緊急性があるような場合は  
`<strong>` ~ `</strong>` で囲います。  
具体的には、重要な部分を示したり、警告のような部分に対して使用します。  
一般的なブラウザでは、このタグが付けられた部分は太字で表示されます。  
※検索エンジンが検知する

記述例：

```
<p>  
    <strong>【警告】</strong>PC をシャットダウンしてからお帰りください。  
</p>
```

### ・ small 要素

著作権・免責事項・帰属といった、一般に小さな文字で表示されているような部分は  
`<small>` ~ `</small>` で囲います。  
フッター内の「Copyright © 2014 ○○○○○○. All rights reserved.」に使用されます。  
このタグが付けられた部分は小さな文字で表示されます。

記述例：

```
<p>  
    <small>Copyright (C) 株式会社○○ All Rights Reserved.</small>  
</p>
```

### ・ br 要素

見出しや段落の前後の改行は、ブロックレベル要素のタグを付けることで自動的に作られます。  
上記とは別に、改行自体がコンテンツの一部であると考えられるような場合  
（住所を複数行に分けて表示させたい場合や詩のような文章の改行など）には、  
行末に `<br>` と記述すると、その位置で改行されるようになります。  
br 要素は空要素のため、コンテンツ部分および終了タグは不要です。

記述例：

```
<p>  
    〒530-0012<br>大阪市北区茶屋町 2-9-2<br>学園ビル 2F  
</p>
```